

所属実験室	計算機システム	指導教員	佐藤 寿倫
学籍番号	TL091235	氏名	高山 尚人
論文題目	バックグラウンドで監視する Android 用セキュリティソフトの開発		

1. はじめに

近年携帯電話はフィーチャーフォンからスマートフォン（スマホ）へと移行しており、米国 comScore が 2012 年 8 月 21 日に発表した日本国内モバイル市場に関する調査結果[1]によると、モバイル機器ユーザー全体のうち、携帯電話の利用者は 76.5%、スマートフォンの利用者は 23.5%と同様の調査を行った 2011 年 12 月と比べて 6.9 ポイントの増加となっており、今後もさらに普及していくと思われる。しかし、急速な普及に伴い危惧されているのが情報の漏えいなどの安全性の問題である。そこで本研究では、スマートフォンの安全性を向上させるために Android 用セキュリティソフトの開発を行う。

2. Android について

Android とは、携帯電話に代表されるモバイルデバイス向けのオープンでフリーなソフトウェアプラットフォームである[2]。ここで言うソフトウェアプラットフォームとは、モバイルデバイス向けのソフトウェア開発キットである「Android SDK」に加え、OS やミドルウェアなども含んだソフトウェア集合体のことを指す。

3. 監視アプリケーション

本研究の目的はスマートフォンの安全性を向上させるために Android 用のセキュリティアプリの開発を行うことである。安全性の向上と情報漏えいを防ぐという点を考慮した結果、Android 端末に標準でインストールしてある連絡帳アプリケーションをバックグラウンドで監視し、アクセスがあった場合に警告を出すアプリケーションの開発を行うことにした。

4. アプリケーション実装

統合開発環境 Eclipse を用いて Android 向けのアプリケーションを開発できる環境を構築した。バックグラウンドでログを監視し、連絡帳アプリにアクセスがあった場合に警告を表示させる監視アプリケーションを開発した。図 1 は動作確認である。



図 1 監視アプリケーションの動作確認

5. まとめ

Android 用のセキュリティソフトを開発した。これにより、個人情報の漏えいを利用者が察知することができ、アプリケーションのアンインストールなどの対策をとることが出来る。

参考文献

[1]<http://japan.internet.com/allnet/20120822/3.html>

[2]江川崇 他

“Google Android プログラミング入門”